

## 【議事】定 39

(3) JEM 運用及び利用サービス提供事業への民間活力導入について

JAXA の飯田理事と山浦室長が資料 39-3 (JEM 運用・利用・民活) を説明した。その後、下記の質疑応答があった。

青江：そもそも何でやるかを考えなければならない<sup>1</sup>。JAXA の人材を有人訓練などに充てるためである。主眼目はコストの低減であり、効果が無いようであれば大胆に仕組みを切り替える必要がある。

JAXA 飯田：仰るとおりである。JEM の運用がまだ始まっていないので、やりながら考えていこうとしている。

井口：議論したのは数年前で、「何のために」がだんだん薄れてしまうことを危惧する。

JAXA 山浦：報告には書いていないが、主眼目は承知している。想定した中でこれが良いと思い、スタートしている。

松尾：試算は行ったのか。

JAXA 山浦：再下請負などがあり、増える要因になっている。減らす要因を考えながら、シミュレーションを行っている。

提案を受け取り、その結果を考えることだと思っている。

森尾：候補としてどんな会社があるのか。競争があるので活力が出るということもあるが、一社に絞って大丈夫か。

JAXA 山浦：新しい人に急に変わってできる仕事ではない。イギリスの例などを勉強したが、最終的にはエイジェンシーと

の競争だと考えている。

青江：ラック 1 個を買うケースで、外国も相手に考えれば良い。JAXA 山浦：各国で調整して料金表も決まっており、そのような約束になっている。

森尾：22 年以降も JAXA がやった方がメリットがあるなら、柔軟に対応すれば良い。

松尾：人員の問題は無いか。独法になって柔軟になったのか。

JAXA 山浦：金額の制限はあるが、内訳の融通性は高まった。

(4) あかりの現状と最近の成果について

JAXA の井上教授が資料 39-4 (赤外線天文衛星「あかり」の現状と成果) を報告した後、下記の質疑応答があった。

野本：擬似カラーと説明していらしたが、色は何を意味しているのか。波長ごとに色を変えているということか。

JAXA 村上：(各波長と色の組み合わせを説明した。記載省略)

森尾：波長は何を意味しているのか。

JAXA 村上：温度とってもらえば良い。(各色と温度を説明。記載省略)

井口：主題とは離れるが、故障に対処したことの記述で、「可能性は消しきれない」等、滑らかに頭に入ってくる表現である。

他の衛星の説明は違って、は「有り得ない」と云う表現をしていたりする。村上先生。教育していただけないでしょうか。断定してしまうと、人は忘れてしまう。

JAXA 村上：旧 ASDA とか云うことなく、考えて行きたい。

---

<sup>1</sup> そもそもアウトソーシングでコスト低減という指示が甘いのではないか。JEM を地上実験 (レファレンス実験) に使い、打上げなければ大幅なコスト低減ができた。今さら遅いのではあるが。